

令和2年2月28日

足立区立江北小学校
学校長 土性 知法 様

足立区立江北小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 青木 信夫

令和元年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

学校の一年間の取り組みよく分かった。子どもたちが安全に、楽しく学校生活を送れるように様々な取り組みをしている様子がうかがえる。安全面で大きな事故なく過ごせたのが何よりよかった。不登校児童が減少していることも評価できる。学習面においては、色々と努力していることは把握できる。結果となって表れるよう引き続き基礎学力の定着に努力してほしい。

いじめについて、細かく見取っていることで重篤化していないことがよかった。一つ一つの取り組み目標について、単年度で成果を出すことは難しい。重要なテーマについては、ある程度時間をかけて腰を据えて取り組むことも必要である。学校と家庭・地域が一体となって知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成に努めてほしい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- ・生活面で落ち着かない様子が一部に見られるようなので、学習規律や学校生活のルールなどしっかりさせるよう取り組んでほしい。
- ・学校評価アンケートにある通学班についての記載を見ても、PTA活動についても誰かがやってくれるもので自分はサービスを受ける側という認識の保護者が多い。一緒に活動していくということを伝えていきたい。
- ・学校で定期的に放課後のパトロールをしていることを知らない保護者が多い。そろいのビブスなどを着用して巡回するとよいのではないか。
- ・以前はPTAで定期的に放課後パトロールを行っていた。先生たちの巡回と合わせて行ってみるのもよいのではないか。
- ・土曜授業の際などに開かれの委員、PTAが合同で街角に立って交通安全などを見守ってはどうか。
- ・同じ子が欠席や遅刻を繰り返しがちとのこと。家庭への啓発を含め、改善策を検討することはできないか。
- ・地域との連携に関する評価があまり高くないので、積極的に連携できるよう考えたい。

3 その他

- ・漢字検定の実施が軌道に乗りつつある。次年度以降も精力的に取り組みたい。
- ・本校の卒業生が東京オリンピックの候補になっている。当協議会でも積極的に応援したい。